

論文名 : Psychological distress in an earthquake-devastated area with pre-existing high rate of suicide (要約)

新潟大学大学院医歯学総合研究科

氏名 橘 輝

[背景]

2011年3月12日、長野県栄村を震源地とする長野県北部地震（震源深さ8km、マグニチュード6.7）が発生した。この地震により新潟県十日町市の松之山及び松代地区で震度6弱を記録し、多くの被害が出た。松之山地区はかつて高齢者自殺率が非常に高く、地域ベースのうつ病予防により自殺率が大幅に減少した。一方、松代地区もかつて自殺率が高く、地域ベースのスクリーニングによる一次ケアにより自殺率が減少した。近年失業率と自殺率との関係から、中年の働き盛りの人々の自殺予防の重要性が指摘されている。また、高齢者の自殺は、地方の高齢化社会にとって未だに主たる公衆衛生学的問題である。

かつて自殺率の高かった地域においてどのような環境及び個人的要因が地震後の精神健康状態に影響するのかについて質問紙調査を実施し、更にスクリーニングにより抽出された対象者に対して診断面接を行い精神疾患の有無についての調査を行った。

[方法]

対象地区に住む40歳以上の住民1,923人を対象とし質問紙を全戸配布し、1,731人(回収率90%)から回収した。質問紙には精神健康状態の指標であるKessler10心理的苦痛尺度(K10)を組み入れた。K10のカットオフ値とされる15点以上の者には、精神疾患簡易構造化面接法(Mini-International Neuropsychiatric Interview: MINI)を用いた診断面接を行った。

質問紙調査の2～3ヶ月後に精神科医が個別訪問および相談会を実施し、同意の得られた122人に対してMINIによる診断面接を実施した。対象疾患及び状態は、先行研究を参考に大うつ病性障害と心的外傷後ストレス障害(post-traumatic stress disorder: PTSD)、アルコール乱用または依存、自殺リスクとした。

K10総得点に影響を与え得る要因として質問紙に組み入れた15項目を独立変数とし、K10総得点を従属変数としたカテゴリカル回帰分析を行った。15項目の独立変数とは、性別、公的機関による家屋の被害認定、田畑の被害の有無、地震直後の心理的衝撃、地震による怪我の有無、睡眠時間の変化、飲酒量の変化、地域の対人関係の変化、家族内の対人関係の変化、収入の変化、身体疾患（高血圧、脂質代謝異常、糖尿病、脳血管障害、心疾患、その他の大きな疾病）の罹患数、配偶者の有無、精神疾患の既往、年齢、地震発生時の同居者数である。

統計学的解析はIBM SPSS statistics 20を用いて行い、P値0.05未満を統計学的有意とした。本調査は新潟大学医学部の倫理委員会で承認され、本調査への参加の同意は質問紙への記入を通じて回答者から得た。

[結果]

K10を漏れなく記載したのは全回答者のうちの1,346人(77.8%)であった。K10の平均値は5.8点 (SD, 6.3)であった。K10得点がカットオフの15点以上の回答者の割合は9.1%であった。

カテゴリカル回帰分析により、地震直後の心理的衝撃、睡眠時間の減少、地震による地域の対人関係の減少、高齢、精神疾患の既往、田畑の被害、地震時の同居人数の7変数が有意な標準回帰係数であった。

K10が15点以上であった122人のうち、79人がMINIを用いた面接に同意した。精神科医による面接の結果、大うつ病性障害、PTSD、アルコール乱用/依存、自殺リスクが、それぞれ5人(6.3%)、1人(1.3%)、4人(5.1%; 乱用 1人; 依存, 人3)、13人(16.5%)存在した。また、MINIを用いた診断面接に参加した回答者79人のうち計18人(22.8%)が調査対象の精神疾患あるいは精神医学的状态を有していた。

[考察]

本研究の回帰モデルは K10 総得点の分散の約 30%を説明した。有意な独立変数のうち、申請者らは地域における対人関係の減少が与える影響に関心を持った。被災者への社会的支援と 1 年後の PTSD の低有病率との関連が報告されるなど、社会的支援が心理的苦痛を和らげるというエビデンスがある。近年、地域回復力という概念が、災害の余波の中で個人を効果的に機能させ、個人をうまく適応させるための援助における重要な因子として提案されている。松之山では、地域ベースのメンタルヘルス活動が長期的に行われてきた。この活動が災害ストレスに対する地域回復力を強化し、被災者の心理的苦痛を軽減させた可能性がある。

[結論]

地震直後の心理的衝撃、睡眠時間の減少、高齢に加え、地域における対人関係の減少が、大地震後の山間部地域住民の心理的苦痛に影響を与える。